

## COP22 (マラケシュ会議) 報告会 in 仙台

# すでに始まっている損失と被害！ 温暖化対策の最新動向と私たちにできること

2016年11月4日に発効した、温暖化対策の新たな国際的枠組み「パリ協定」。

COP21で採択されてから発効までわずか11カ月という早さは、7年半もかかった京都議定書の発効(1997採択、2005年発効)と比べても明らかです。これは、国際社会が温暖化対策の動きを加速させようとしていることの表れではないでしょうか。

異常気象による被害や、海面上昇に伴う国土の消失など、温暖化による損失と被害はすでに始まっており、待ったなしの状況です。

そんな中2016年11月7日から18日にかけて、モロッコ・マラケシュで開催された国連気候変動枠組条約第22回締約国会議(COP22)。

今回の報告会では、会議で話し合われた最新情報について現地の会議に参加された方から報告をいただくとともに、すでに始まっている温暖化の影響・被害の状況等についても報告を行います。

未来を変えるために私たちにできることはなにか、考えてみませんか？

(写真提供: FoE Japan)

日時 2017年 **2月11日** (土) **13:30~16:00** (開場 13:00)

会場 **仙都会館 8F 会議室** (仙台市青葉区中央 2-2-10) 地図裏面

### プログラム

#### 1. 報告1「気候正義 (Climate Justice) の観点から見る COP22」

深草亜悠美氏 (NPO 法人 FoE Japan 気候変動・エネルギー担当)

#### 2. 報告2「地球温暖化最前線国キリバス共和国の状況」

ケンタロ・オノ氏 (キリバス共和国名誉領事館 名誉領事・大使顧問)

#### 3. パネルディスカッション

コーディネーター: 長谷川公一氏 (東北大学大学院文学研究科教授)

参加  
無料

定員  
50名  
(先着)

#### 参加お申込み

①氏名、②所属、③TEL、  
④E-mail について、電  
話・メール・FAXにて、ス  
トップ温暖化センターみや  
ぎまでご連絡ください。  
(事前申込なしでも参加可)

主催 公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)

お申込み/お問い合わせ先

ストップ温暖化センターみやぎ (公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)内)  
TEL/022-301-9145 FAX/022-219-5710 E-mail/stop\_gw@miyagi.jpn.org

※この報告会は、平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(環境省)を受けて開催します。



## COP とは？

地球温暖化でいう COP とは、気候変動枠組条約締約国会議(Conference Of the Parties)の略称で、温暖化に関する国際会議です。1995 年から毎年開催され、97 年(COP 3)に京都議定書が採択されたのも、京都で開催されたこの会議です。

2016年のCOP22は、モロッコのマラケシュで開催されました。次回のCOP23は、フィジーが議長国となり、ドイツのボンで開催されることが決まりました。

## キリバスとは？

太平洋に浮かぶ、とても遠くて、とても小さい国「キリバス共和国」。世界で一番早く朝を迎える、とても美しい国です。

そんなキリバス共和国は、今、地球温暖化によって国がなくなる危機に直面しています。



キリバス共和国の位置  
(提供：キリバス名誉領事館)

### 会場アクセス

#### ・会場

仙都会館 8F 会議室

#### ・住所

仙台市青葉区中央 2-2-10

#### ・アクセス

JR 仙台駅 徒歩 5 分

JR 仙石線あおば通駅 徒歩 1 分

地下鉄広瀬通駅 徒歩 3 分



## FAX 申込用紙

FAX 番号 : 022-219-5710

\*切らずにそのまま  
FAX してください

ふりがな		所属	
氏名		E-mail	
TEL			

申込締切 2016年2月8日(水)

受付のご連絡をいたしますので、送信後3日経っても連絡がない場合にはお問い合わせください。  
ご記入いただいた情報は当企画以外には使用いたしません。